

各 位


 公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

東日本支部 支部長 高橋 均

東日本支部 2017年度部会メンバーの募集について

弊会では東日本と西日本の2支部を置き、それぞれの地域でVE普及活動を展開しております。関東以北を主な活動エリアとする東日本支部におきましても、事業所見学会や特別講演会などを定期的に開催しているほか、切り口が異なる6つの「部会」を編成し、実務への応用展開を目的とした研究開発を積極的に進めております。

この部会活動には毎年150名近い方々が登録され、VE専門家による手厚い技術サポートのもと、下記のようなメリットが得られるとの高い評価をいただいております。

新年度を迎えるにあたり、2017年度（2017年4月～2018年3月）の活動メンバーの登録を広く募集いたします。この機会にいずれかの部会へのご登録をお勧めいたします。



2017年2月実施 「部会活動に関するアンケート調査」より

◆ ご登録にあたって ※ご登録は一人2部会までとなります

- ・「GIVE & TAKE」が活動の前提です。実参加を伴わないメンバー登録はご遠慮ください。
- ・VEに関連する具体的なテーマで研究討議を行いますので、VEリーダーまたはVEリーダーと同等レベルの基本知識をお持ちの方の参加を希望いたします。

◆ 部会活動への参加費用について

- ・会員（法人・個人）および官公庁・行政機関の方は、部会への登録をはじめ、支部が主催する事業所見学会や特別講演会、部会内の研究活動に参加するための費用はすべて無料です。
- ・上記以外の方は、お一人様30,000円（消費税別）の部会登録費を申し受けます。

◆ 登録方法と締め切り ※添付の登録申込書により、事務局宛にEメールでお申し込みください。

- ・4月中旬から下旬にかけて各部会のキックオフが予定されているため、メンバー登録の受付期間を **4月10日まで** とさせていただきます。その後も随時登録を受け付けますが、部会運営上、できるだけスタート時点からのご参加をお勧めいたします。

2017 年度 各部会の活動概要

- 経営とVEの接点を探る -

マネジメント部会

対象者: 経営スタッフ、起業家、新規事業・起業に関心のある方

主 査: 福原政則[福原イノベーション研究所 代表取締役社長]

昨年度は“日本を元気にする”をスローガンに、VRの先端テクノロジーや飲食、教育、リユースビジネスで新しい価値を創造する元気な成長企業の社長にインタビューし、実現可能なビジネスモデルの構築手法を研究してきました。本年度も継続し、経営の本質を探ります。また、部会メンバーで月3千万PVを獲得するITベンチャー社長によるブログ講座なども企画しています。起業家精神を持って、**新しいビジネスの構築手法や事業化**と一緒に考えていただける方々のご参加をお願いします。

(1) 実現可能なビジネスモデルの構築手法の研究<研究会開催予定: 1回/月>

(2) トップインタビュー<企業訪問予定: 3回/年>

JVA受賞企業などの社長インタビューで経営戦略の肝を検証し、VE情報誌にまとめる。

※キックオフ予定:[日時]4月14日(金)14:00~[場所]VE協会、お試参加も大歓迎です。



- VEの普及・定着と成果の拡大 -

VE推進部会

対象者: 改善活動の推進事務局、人材育成・教育研修部門の方

主 査: 大久保 匠[富士通ゼネラル 情報通信ビジネス推進室]

各社のVE推進担当とコンサルが集まり、VE推進課題について月1回・2分科会で、各社のノウハウを持ち寄り活発な活動を行っています。合宿研修会として他社の活動事例見学を行っています。

「VE普及推進研究会」(A分科会): 分科会活動で作成したVE推進活動評価表(SJチャート)を用いて推進状況を客観的に把握、各社傾向を分析して成功のためのポイントを導き出します。

特に今年度は、推進段階ごとに「どんな施策が効果的なのか」に焦点をあてて活動します。

「VE実践活用研究会」(B分科会): 「実践からの知恵の結集」を意識した実践に役立つ手法を研究しています。機能定義段階のテクニックに焦点をあて、ノウハウを抽出して実践教育に役立つガイドを整理します。VE実施手順を実践しながら検証する、たいへん活気ある部会です。



- For-SHIN-VE -

マーケティング部会

対象者: マーケティング全般、事業企画・商品企画部門の方

主 査: 沼澤朋子[横河電機 グローバル業務革新本部]

これまで本部会では、マーケティングの手法を学び、新しい価値を創造するためのツールを開発し、検証してきました。このような活動を通じ、これからはVE実施手順の前段階であるターゲット決めが非常に重要であると認識しています。

一方、ターゲットを決めるというプロセスそのものは、KKD(経験・カン・度胸)に頼るところが大きいといわれています。2017年度、本部会はマーケティング視点のVE思考で、**KKDから脱却したターゲット決めのプロセスを研究し、価値創造活動の支援に役立つ手法を開発**したいと考えています。未来に向かって一歩踏み出すためにVEの活用を考えている方の登録をお待ちしています。



- めざせ VEイノベーション -

R & D 部 会

対象者: 新 VE 手法の創造、VEの普及・教育・実践などに携わる方

主 査: 三好達夫[三菱電機 本社生産技術部]

「簡単かつ大きな成果」VEの価値向上です。価値を創造し向上させる手法としてVEを進化させ、関連手法を含めた探究・研究・開発を行います。今年度は、以下の2テーマを取り上げます。使用者優先! 参加メンバー皆様の役に立つことが第一です。多くのご参加をお待ちしています。

1. 差別化機能の研究チーム (リーダー: 斉藤)

差別化機能の抽出法の研究を行っています。まず、Part Iとしてマーケティング手法を活用しての差別化機能抽出に取り組みました。昨年度よりPart IIとして、使用者の困り事に着目し、その本質問題から魅力機能を抽出することに取り組んでいます。今年度はそれを洗練化、さらに新たな抽出法にも取り組みたいと思います。皆さんも新たな創造にチャレンジしてみませんか。

2. VE7つ道具チーム (リーダー: 吉見)

簡単に成果を出しながらVE仲間を増やし、VE知名度、効果の拡大が図れる、有用なツールの研究を行っています。第1段階として「だれでも解決7つ道具」を作りました。昨年度より第2段階として「VEリーダー以上が使うVE7つ道具」の研究を行っています。お薦めの道具を紹介してもらうとともに、いろんな道具にも出会えます。みなさんも一緒に研究してみませんか。



- 最適生産・最適調達のあり方を求めて -

ものづくり部会

対象者: 調達・製造から据付・施工まで、ものづくり全般に携わる方

主 査: 佐藤尚吾〔パイオニア コストエンジニアリング部〕

「ものづくり」とは日本の製造業で発展したノウハウです。また、製造業にとどまらず、建設業、物流、サービス業などの現場にも良い教材、改善の模範があると言われています。当部会ではさまざまな業界や業種のものづくり現場に出向き、現地・現場や現物を確認し、原理・原則や機能・手段などを学ぶことによって、最適な生産・調達のあり方やものづくりの改善手法・事例などをVEにとらわれることなく勉強・研究しています。ものづくりに関心・興味のある方、どうぞ気軽にご参加ください。



●**先進企業の生産活動や改善活動を工場見学によって実感し**、意見交換を行うことで自社のものづくり改善のアイデアやヒントを得るとともに自己のスキルアップを目指します。見学の内容によっては座学でさらに深掘し、理解を深める活動も行います。(2ヵ月に1回程度、一話完結型の活動です)

●**現地・現場や現物を解析しての改善手法であるQCやIEと**、それらから派生した機能を中心に価値改善をはかるVEの関わり方について、**部会メンバーの経験や知識を生かした「改善・ノウハウ勉強会(座学)」**も開催しています。(開催頻度は2ヵ月に1回程度です)

- 事業戦略からまちづくりまで -

社会インフラ部会

対象者: 建設業やコンサルタントなど、社会インフラに携わる方

主査: 曾我行雄〔フジタ 建設本部VE推進部〕

社会インフラに従事する方々、VE活動の導入や進め方、問題点などを気軽に検討したい方々を対象として、様々な情報交換を行いつつ、下記の(A)(B)2つの分科会活動を展開します。参加メンバーの意見に応えながら、相互の情報交換と実習や技法を勉強するとともに、社会のニーズに応えるVE活動に必要なスキルアップを図り、社会に貢献することを目的とします。



(A)「**企業ケース検討会**」:リーダー:IHI・薄衣

ポーター賞を受賞した企業の分析を基に、優良企業設計の手法を開発中で、マニュアル化を視野に入れ、VE手法の新しい活用方法を検討しています。

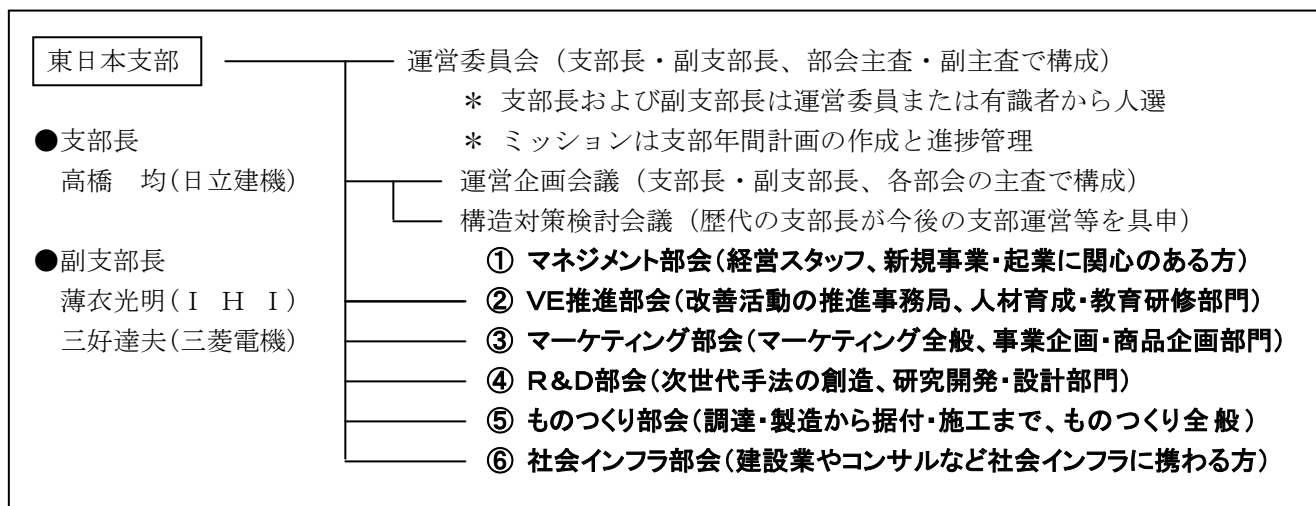
(B)「**建設VE研究会**」:リーダー:フジタ・曾我

社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するための方法や手法を検討し、資料を作成します。

今年度は、「公共機関で利用可能な短時間VE手法の検討」や「FASTの検討」を中心に活動を進めます。

★ 部会ごとの定例会合以外にメンバー限定の特典もあります。どうぞ奮ってご参加ください。

- 1) 年数回行われる「**事業所見学会**」や「**特別講演会**」に無料で参加できます。先進的なVE活動や効率的な生産システム構築を行っている企業の取り組みを学んだり、VE関連技法や話題のテクノロジーについて知見を広げることができます。
- 2) 毎年3月に行われる「**活動報告会**」に無料で参加でき、講演者や他の部会に登録しているメンバーとの意見交換や情報交流がはかれます。



東日本支部 2017 年度部会登録申込書

東日本支部の部会運営内規を遵守し、以下の者をメンバーとして登録します。

登録部会	登録者		連絡先	
マネジメント部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
V E 推 進 部 会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
マーケティング部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
R & D 部 会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
ものづくり部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
社会インフラ部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	

申込日：2017年 ____月 ____日

● 会社・事業所名 _____

● 申込担当者 _____ ● 所属・役職 _____

● 参加区分（いずれかを■） 法人会員 個人会員 官公庁・行政機関 一般

※ご記入いただいた個人情報は、部会内の連絡のために「部会名簿」を作成して支部運営委員ならびに部会メンバーに配布させていただきます。いただくほか、協会の大会やセミナー等のご案内のために使用させていただきます。あらかじめご了承ください。